

「第１３回飯塚地区犯罪被害者に優しいまちづくり住民大会」開催結果のお知らせ

令和７年１１月１３日、イイツカコスモスコモンにおいて「第１３回飯塚地区犯罪被害者に優しいまちづくり住民大会」を開催しました。

本大会は１１月２５日から１２月１日までの「犯罪被害者週間」の一環として、地域住民が犯罪被害者等の心情を理解し、犯罪の被害者も加害者も出さないまちづくりを進めることを目的とし、飯塚警察署、飯塚市、桂川町主催で平成２５年から開催しているもので、今回が１３回目となります。

第１部では、主催者挨拶、犯罪被害者支援に関する標語コンクール表彰式、嘉穂総合高等学校生徒による大会宣言、福岡犯罪被害者支援センターの活動紹介、被害者遺族講演を行いました。

遺族講演は、交通事故で幼い娘さんを亡くされた池田かおり氏が、自身が制作した娘さんとの思い出を綴った絵本を上映し、「生きていて当たり前、無事に帰宅して当たり前、そう思っていた日々は当たり前ではなく、奇跡の日々だったのです。私たち家族はいつか笑える。しかし、加害者であったなら一生笑えない家族になるかもしれません。被害者も加害者も出さない世の中になるように、世の中のルールを守り、人を思いやる心が広がっていくことを願っています。」と強く訴えました。

第２部では、福岡県警察音楽隊・カラーガードの演奏演技が観客を魅了し、盛況のうちに大会を終了しました。

住民大会の様子



主 催 者 挨 拶



標 語 コ ン ク ール 表 彰 式



福岡犯罪被害者支援センター活動紹介



大会宣言（嘉穂総合高等学校）



被害者遺族講演（池田 かおり氏）



福岡県警察音楽隊による演奏・演技